平成２６年第７回大仙市教育委員会定例会会議録

平成２６年第７回大仙市教育委員会定例会を平成２６年７月２３日（水）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席委員

物　部　長　仁
鈴　木　直　樹
富　樫　佳　典
伊　藤　　良
竹　原　まゆみ
三　浦　憲　一

説明員

教育指導部長	小笠原　　晃
生涯学習部長	滝　沢　清　寿
教育総務課長	佐　藤　彰　洋
教育指導課長	千　田　寿　彦
教育研究所長	須　田　百合子
生涯学習課長	山　谷　喜　元
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	大　河　洋　子
花館公民館長	千　葉　信　夫
神岡中央公民館長	石　山　雄　康
西仙北中央公民館長	嵯　峨　耕　咲
中仙公民館長	草　薙　祐　喜
協和公民館主幹	佐々木　春　美
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	小　松　　徹
太田公民館長	安　達　成　年

書記

教育総務課参事	藤　井　吉　美
教育総務課主幹	田　口　広　龍

付議案件

(1)　議案第38号　教育に関する事務の点検・評価報告書案について

(2)　議案第39号　大仙市立小学校用教科用図書の採択について

物部委員長
（開会の挨拶）
（書記の指名）
（前回会議録を承認することについて、会議に諮り、承認された。）
議事に入ります前に、本日の議事と進行について皆様方に御提案申し上げます。議案第３９号大仙市立小学校用教科用図書の採択についてでございます。これに限り、秘密会といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。また、会議のスムーズな進行を図るため議案第３８号を審議しました後、次第のその他について協議し、一旦、休憩にしたいと思います。その後再開いたしまして、教育指導部長、生涯学習部長、教育総務課長、教育指導課長及び教育研究所長のみを説明員として議案第３９号を審議いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

物部委員長
ありがとうございます。
それでは早速、教育長報告に入らせていただきます。三浦教育長、お願いいたします。

三浦教育長
（資料により教育長報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。続きまして、各部署から事務事業・行事報告をしていただきます。はじめに教育総務課長、お願いします。

各課・所・館長
（資料により教育委員会各部署から事務事業・行事報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。以上、教育長報告をしていただきました。
ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員
被災地支援、交流を行っている学校がたくさんあるわけですけれども、我々は同じ東北で隣県だから行っているものなのか、全国的に見ると、例えば、九州、関西、関東地方などのところも行っているものでしょうか。

物部委員長
教育指導課長、いかがですか。

教育指導課長
　情報はありませんので、おそらく遠くからはないのではないかと思います。県内でも本市は突出しているものと思います。市からも全面的なバックアップをいただいておりますので、更にパワーアップして行いたいと考えております。

三浦教育長
　県内でもあまりないですね。他県の例では栃木県から宮城県に来たりというのはあるみたいです。特定の学校という感じですね。予算もかかるでしょうしね。

伊藤委員
　被災地支援、交流は、いつ頃までを目処に考えているものでしょうか。将来の見通しをお聞かせください。

教育指導部長
　最初は物の支援という形から入ったわけですけれども、現在、本市の学校では交流という形にシフトしてきております。単なる被災地への支援ではなくて、自分たちも生き方を学ぶとか防災を学ぶとか被災地と関わることで、どういうことができるんだろうという人間の生き方を学んでいるという形に変わってきているのかなと思っております。ですから、被災地への支援ではなくて、これからの生き方を学ぶ学習の大事な一つのテーマになっているのかなと思っております。いつで区切るということではなくて、この後も交流できる限りは交流していくし、もしかすると、ある程度ここで打ち切ると学校で判断する場合もあり得ます。逆に、太田中学校が交流している大槌中学校さんは、ほかのところの支援はある程度御遠慮願っていると、ただ、一番先に来てくれてその後も変わらずに交流してくれている太田中とは、この後も続けていきたいというようなお話も伺っておりますので、そういう方向ではないのかなと思っております。

三浦教育長
　最初に実施した太田中の流れを見ますと、いろいろと勉強になるんですね。支援だということで一所懸命頑張って行ったら、受ける方はだんだんつらいと、いやになって来るところもあると、いつも助けられるのがいやだとそういう雰囲気もあったそうです。それで交流に切り替えて音楽で交流したり、そういう形でやっていくと長続きして、今度はあちらからも来てくれると、お互いにそういう形だったら長続きするなと、これは太田中の経験から生きていることで、ほかの学校で広がっているのは、仮設住宅ですね。おじいさん、おばあさん方に何ができるかということで広がって、それがいわゆる歌を歌いに行ったり、グラウンド・ゴルフを一緒にやってくれたり、そういうことのつながりで今、少し元気を出してもらっているという形で非常に感謝してくれていると、そういうのは続けなければいけない。すぐに仮設住宅から出ていける状況ではまだないと。そういう励ましという形で、今は続けさせてもらっているという状況ですね。

物部委員長
　支援から交流という形に変化して、生き方教育、防災教育へと発展していると大変素晴らしい形になっているというお話で、今しばらくはずっと続いていくような感じですね。

物部委員長
　伊藤委員、この件はよろしいでしょうか。

伊藤委員
　はい。

物部委員長
　ほかにございませんでしょうか。
　私からも、一つお尋ねいたします。太田公民館長さん、太田地域を語る市民の集いが開催されているということですが、市民の皆様の御意見の中で学校の状況とか、統合問題とかいろいろ関わる問題の話などは出てくるものでしょうか。

太田公民館長
　２日間出席いたしましたけれども、１か所において、特に今、少子化ですから、学校統合に対する市の考えはどうですかという質問がございました。委員長さんが学校訪問の際にもおっしゃっていますけれども、地域がどうしたいかということを考えていただいてそれからですよというお話をさせていただきました。

物部委員長
　やはり、そういうことですね。地域を語るいろいろなお話の中で、私どもに関わるお話が出ましたら、逐一報告していただければと思います。よろしくお願いいたします。
　ほかにございませんしょうか。

各委員（なし）

物部委員長
　それでは、教育長報告につきましては、以上とさせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。議案第３８号教育に関する事務の点検・評価報告書案について、教育総務課長、お願いいたします。

教育総務課長
　議案３８号教育に関する事務の点検・評価報告書案について御説明いたします。
　説明資料は、委員の皆様に別冊でお配りしております。そちらの方を御覧いただきたいと思います。１ページを御覧ください。この報告書は、下の参考欄にありますとおり地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２７条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行い、議会に提出し、公表するものでございます。

２の点検・評価の実施方法については、点検及び評価の対象とする事務は、平成２５年度の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいせんビジョン、大仙市生涯学習推進計画又は大仙市スポーツ推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、２５事業を選定し、点検・評価を行いました。

点検及び評価の手法と方針につきましては、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものでございます。また、学識経験者の知見の活用につきましては、有識者として秋田大学教育文化学部副学部長　佐藤修司教授、前花館小学校長　藤原保子氏、社会教育委員　鈴木三郎氏の３氏であります。これは、今年度から導入した手法で独自の外部評価を行い、２回の会議で外部評価委員の方々の意見を伺いました。

２ページを御覧ください。教育委員会の活動に関する事務を３項目にわたり掲載しております。はじめに、教育委員会の会議の開催状況及び審議の件名を２ページから４ページまでに記載しております。開催回数は、毎月の定例会のほか臨時会を２回開催し、合計１４回開催いたしました。また、議案については６３件でありました。

５ページには、教育委員会委員の活動状況及び研修状況を掲載しております。昨年度の委員研修は、国際教養大学や昨年度完成いたしました旧池田氏庭園案内所の「巨洲館（おおしまかん）」を視察研修しております。

６ページからは、事務事業の点検・評価表でありますが、各課から抽出していただいた２５事業について、事業の目的、事業の実施状況、自己評価、課題等について所管課長から説明し、その後、外部評価委員の方々から御意見を伺いました。各点検・評価表ごとに委員からの意見、評価等を掲載しております。また、３１ページ、３２ページには、外部評価委員からいただいた総評も掲載しております。

以上、御説明申し上げましたが、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

ただいまの説明につきまして、御質問等ございましたら、お願いします。

伊藤委員

これは、佐藤先生、藤原先生、鈴木先生がいらっしゃって、延々とやったんですか。気の遠くなるような時間がかかったかと思いますが。

教育総務課長

まず、この点検・報告書を事前に各外部評価委員に送っております。第１回目の会議の前に目を通していただいております。第１回目の会議では、各所管課長等から内容について御説明をさせていただき、質疑応答を行っております。この会議を踏まえまして、第２回目の会議において、外部評価委員の皆様からそれぞれ評価をいただくとともに、関係部署との意見交換を行っております。

伊藤委員

あらかじめ、資料を送っているんですね。あらゆるところで外部評価を行っていますが、

同じでないとなかなか大変なんですよね。

教育総務課長
　評価する個別事業数については、各市町村によって異なります。本市は事業を実施している全部署を対象にしておりまして、本課は３事業、出先機関は１事業ということで合計２５事業について評価していただいております。

物部委員長
　大変にまじめな態度で自己評価しているなと思います。ざっと見ますと、スポーツ振興課のスポーツ合宿事業なんか自己評価が「おおむね達成した」ということになっているんですが、「順調に達成した」ということでもいいのではと思うんですが。５００歳野球とかもですね。「おおむね達成した」では遠慮深いのかなと思いますが。これらに限らず、「おおむね達成した」と評価されている事業につきましては、こんなにすごくやっているのになと思った次第です。
　大変各事業について頑張っておられると思いますが、委員の皆様、よろしいですか。

各委員（なし）

物部委員長
　議案第３８号教育に関する事務の点検・評価報告書案については、ただいまの説明、報告のとおり承認させていただきます。ありがとうございました。
　それでは、その他に入らせていただきます。その他ございましたらお願いいたします。
　教育総務課長、お願いいたします。

教育総務課長
　次回の定例教育委員会の日程でございます。８月２０日水曜日午後２時から大曲図書館３階視聴覚室で開催したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

物部委員長
　委員の皆様、御都合はよろしいでしょうか。

各委員（はい）

物部委員長
　それでは、そのようにさせていただきます。ほかにございませんでしょうか。

（なし）

物部委員長
　学校も夏休みに入ったようですが、無事安全な夏休みでありますように。また、一回り

大きくなるような充実した夏休みでありますように。また、大変暑くなってまいりました。教育委員会の皆様方も御健康に御留意の上、大変忙しいこの７月、８月だと思いますが、一つ頑張っていただければと思います。

それでは、これで一旦休憩といたします。教育指導部長、生涯学習部長、教育総務課長、教育指導課長、教育研究所長につきましては、引き続き、御出席願います。恐れ入りますが、ほかの皆様は以上で退場していただくことになります。どうもありがとうございました。

（以下秘密会）

閉会時間　午後５時２６分